



農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2022年5月

ケンダル県で収量インデックス型農業保険(AYII)の研修を実施

4月より、中部ジャワ州ケンダル県において収量インデックス型農業保険(AYII)のパイロット事業が始まり、販促活動が開始されています。AYIIは西ジャワ州カラワン県でのパイロット事業に続く、新しい試みであることから、4月13日から2日間にわたりAYIIに関する職員研修を実施し、農業局職員および普及指導員(PPL)を含む約30名が参加しました。研修の目的は、参加者がAYIIの販売から保険金の支払いまでの一連の手続きを理解し、それぞれの担当地域において実行できるようにすることです。参加者は、AYIIの概要や保険にかかる一連の手順、CCE(ツボ刈り調査)の実施方法などを学び、質疑応答では保険金の支払条件ともなるCCEについて活発な議論が行われました。また、参加者はパイロット事業の対象となる4郡12村における具体的な販促活動と目標を定めました。



南スラウェシと東ジャワで実損補填型コメ保険(AUTP)指導者育成研修を実施



↑ 東ジャワ州での研修の様子



↑ 南スラウェシ州での研修の様子

プロジェクトでは3月に、第3回目となる実損補填型コメ保険の指導者育成研修(AUTP-TOT)を実施しました。今回は新型コロナウイルス発生後初となる対面形式での研修となり、東ジャワ州マラン県、及び南スラウェシ州にて、それぞれ約50名が参加しました。参加者には農業普及員、各州農業局職員に加え、農業省研修センター所属の講師各10名が加わりました。プロジェクトが支援する研修は今回が最後となり、今後は農業省が本研修を計画、実施する予定です。また、研修には農家グループ代表者10名も参加し、マラン県で参加したマドクール氏は、「この研修で農業保険の理解を深めることができた。農家に保険加入を促すためには、説明会を開いたり、パンフレットを配布することが望ましい。」と話しました。